HONDA
The Power of Dreams

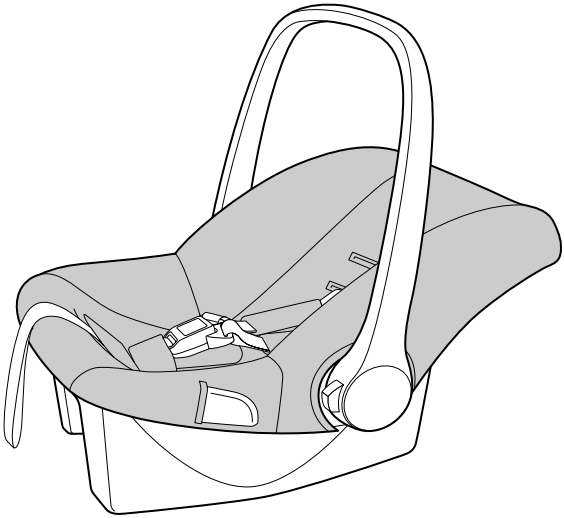
ベビーシート

取扱説明書

このたびは、Honda純正用品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書は、ご使用のまえによくお読みいただき大切にお車の中に保管してください。

●当商品はHonda車専用です適用車種以外の車に取り付けた場合の責任は、一切負えませんのでご承知おきください。（商品の適用車種は販売店にご確認ください。）

●商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。



Honda Access

目次

ご使用になる前に ―― 1 ～ 3

ご使用上の注意 ―― 4 ～ 6

各部の名称 ―― 7

お子様の乗せかた ―― 8

肩ベルトの調節 ―― 9

アームの調整 ―― 10

車両への取り付け ―― 11～13

ベビーシートのお手入れ ―― 14，15

その他 ―― 16

マーク表示について

必ずお使いになる前にお読みください。

**本商品は、お子さまの命を守る重要な役目を果す商品ですが、取扱説明書の指示に従わないと本来の機能をはたさず、事故に合われた時にお子さまが死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。
取扱説明書を必ずお読みいただき十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。**

●本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

● **指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの**　（本用品は該当なし）

⚠警告

● **指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの**

⚠注意

● **指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの**

**●当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。**

アドバイス

・当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
・異常事態の処置方法を記載しています。
・当商品を確実にお取り付けして頂くためのアドバイスを記載しています。

知識

知っておいていただきたいこと、
知っておくと便利なこと
を記載しています。

2　ご使用になる前に

〈安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。〉

ご使用いただけるお子様

⚠警告

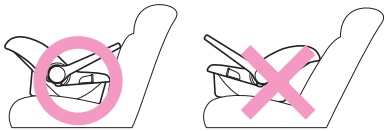
●上記の条件を満たさないお子様にはベビーシートを使用しないでください。万一のとき、ベビーシートの効果が発揮できず重大な傷害を受ける恐れがあります。

体　　重　－　新生児～10kg未満
参考身長　－　新生児～75cm以下
参考年齢　－　新生児～生後12ヶ月以下

取り付けの向き

⚠警告

進行方向に対し必ず後ろ向きでご使用ください



危険ですので前向きには絶対に使用しないでください。
後ろ向き以外では衝突したときなどにベビーシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。

知識

・お子様のためにも1時間以内を目安に定期的に休憩を取るようにしてください。

この様な車両シート ベルトの種類、座席には使用しないでください。

⚠警告

●本品は汎用型ベビー シートであり、ベビー シートの型式指定基準に適合しておりますが、車両シート　ベルトの種類やシートの形状などにより、確実にベビー　シートを固定できない場合は使用しないでください。確実に固定できないと、衝突や急ブレーキの際にベビー シートが移動するなどして十分な効果を発揮せず命にかかわるような重大な傷害を受ける恐れがあります。
なお、不明な点は巻末の問い合わせ先または、販売店にお問い合せください。

●車両シート ベルトの種類

※車両シート ベルトの種類の詳細は「ご使用上の注意の車両シートベルトの種類」を参照してください。

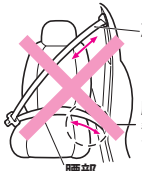
○：取付できる　×：取付できない　（右図参照）

	巻取装置付							巻取装置なし
	肩ベルト側ELR(緊急ロック式)付	腰ベルト側ELR(緊急ロック式)付	肩ベルト側ALR(自動ロック式)付	腰ベルト側ALR(自動ロック式)付	オートマチック	非ロック式		
2点式	／	×	／	×	×	×		×
3点式	○	×	○	×	×	○		○

●2点式シート ベルトの座席

腰ベルトのみのシート ベルト

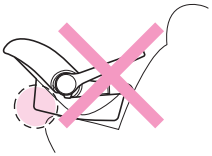
●3点式シート ベルトの腰部取付け部が巻取り装置付の座席



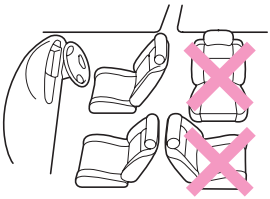
〈参考〉
一般的な3点式シート ベルトでは腰部の取付けは固定されています。

●オート マチック シート ベルトの座席
座席に座ってドアを閉じると自動的にシート ベルトが装着されドアを開けると自動的に外れるシート ベルト。

●ベビー シートの底面の前後端が車両シート座面に納まらない場合又は安定しない座席

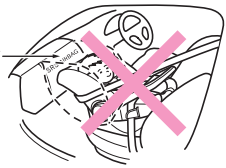


●進行方向に対し横向き、後ろ向きの座席



●シート ベルトが短かく確実に固定できない座席
●シート ベルトの無い座席
●ベビー シートが固定できない座席

●ＳＲＳエアバッグが装備された座席



助手席などＳＲＳエア バッグが装備された座席には絶対に取付けないでください。ＳＲＳエア バッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

●ベビー シートを取付けると助手席側の後方視界を妨げる座席
（助手席ＳＲＳエアバッグが装備されていない座席のみ）

ベビー シートを助手席に取付けた場合ベビー シートが車のドアミラーを隠し後方視界を妨げることがあります。その場合は後席で使用してください。

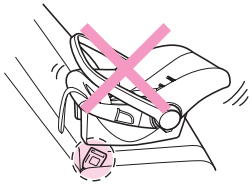
4　ご使用上の注意

⚠警告

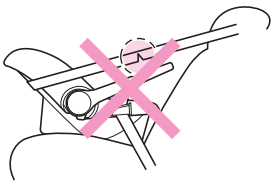
●お子様が車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子様をベビー シートに座らせたまま自動車から離れないでください。炎天下などで車内が高温になり、死亡につながる恐れがあります。

●事故などにより衝撃を受けたベビー シートは使用しないでください。万一のとき、十分な効果を発揮しない恐れがありますので必ず新しいベビーシートに取り替えてください。

●ベビー シートはお子様を乗せないときでも、安全のために車両シート ベルトで固定してください。固定しないと衝突や急ブレーキの際にベビーシートが移動して、思わぬ事故につながる恐れがあります。また、荷物をベビー シートの上に乗せないでください。

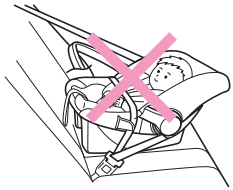


●車両シート ベルトおよびベビー シートのベルトを傷付けないようにご注意ください。万一のとき、ベルトが十分な効果を発揮しない恐れがあります。少しでも傷ついた場合は使用しないで新しいベルトに取り替えてください。



●ベビー シートにお子様を乗せてご使用になるときは、バックルを外さないでください。外すと万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受ける恐れがあります。

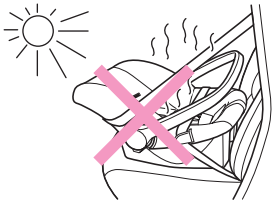
●走行中およびご使用中はお子様が誤って車両シート ベルトやベビー シートのバックル ボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出すことのないよう、細心の注意をはらってください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受ける恐れがあります。



●事故などにより、傷害を与えるような物を固定しない状態でお車の中に放置しないでください。万一のとき、お子様にあたり、ケガなどをする恐れがあります。

●お子様とベビー シートの間に毛布などを入れないでください。万一のとき、ベビー シートが十分な効果を発揮しない恐れがあります。

●ベビー シートに日光が当たると金属部や樹脂などが熱くなり、部品に触れるとやけどをする恐れがあります。熱くないことを確認のうえ、ご使用ください。

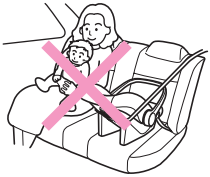


⚠警告

●走行中はベビー　シートの調節や操作をしないでください。走行中に行うと運転の妨げとなり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

●ご使用中車両シート ベルトがゆるむなどしてベビー シートの固定があまくなる事があります。時々点検し、ゆるくなった場合は再度取り付け直してください。そのままご使用になると万一のとき、ベビー シートの効果を発揮しない恐れがあります。
（確認、取り付けは停車し、安全な場所で行ってください。）

●安全のため、走行中はお子様をベビー シートから、降ろさないでください。走行中に行うと万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受ける恐れがあります。



●ベビー　シートを助手席に取り付けた場合（助手席ＳＲＳエア バッグが装備されていない座席）ベビー シートとシフトノブやサイドブレーキが干渉する場合があります。もし、干渉する場合は、助手席での使用をやめ後席で使用
してください。

●走行中、停車中ともお子様をベビー　シートの上に立たせたり、中腰、正座の状態で使用しないでください。お子様がベビー　シートより落ちてケガなどをする恐れがあります。

●お子様が、ベビー　シートをご使用中は、お子様に固いもの、鋭利なもの等危険なものを絶対に持たせないでください。わずかな衝撃でも生命にかかわるような重大な傷害を受ける恐れがあります。
●車の座席にクッション、座ぶとんなどを敷いたままでベビー　シートを使用しないでください。また、クッション材をベビー　シートの調整用として使用しないでください。

●ベビー シートの表皮、カバー類は取り外して使用しないでください。
●本ベビー シートの表皮、カバー類は指定以外のものと取り替えて使用しないでください。
●本書に記載された以外の方法で絶対に取り付けないでください。正しく取り付けないと衝突したときなどにベビー シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。
●本書に記載された以上の分解、構成部品を取外した状態での使用、本品指定以外のものとの交換等の改造は絶対にしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。
●長時間屋外にベビー シートを放置しないでください。ベビー シートの機能を損ねる原因となります。
●食べ物、飲物をベビー シートにこぼさないように注意してください。故障の原因となります。

⚠注意

●ベビー シートを車両の可動部分（シートやドア）で挟んだりしないよう十分ご注意ください。
ベビー シートが損傷する恐れがあります。
●後席にベビー　シートを取り付け、お子様を座らせた場合は、その前席に座る方は、シートスライド、リクライニングをお控えください。万が一シートスライド、リクライニングをする際は、ベビー　シートにぶつかることのないよう十分にご注意してください。

車両シート ベルトの種類

⚠警告

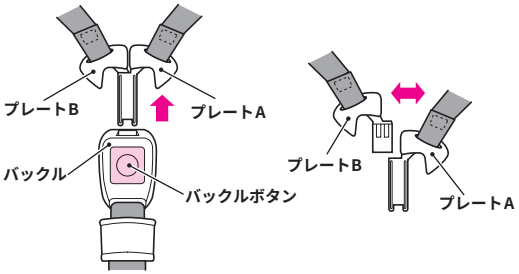
●シート ベルトの種類により取り付け方法が異なります。ベビーシートを正しく安全に使用されるためにお客様の車両のシート ベルト種類を確認して頂き、それぞれの種類に合った取り付け方法で装着してください。使用できる車両は、巻末の問い合わせ先または、販売店にお問い合わせください。

シート ベルトの種類	特　　徴	取　り　付　け
ＥＬＲ（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付３点式シート ベルト	通常時には、ベルトが自由に引き出し巻取りでき、急ブレーキ等の衝撃を感知したときにベルトがその時点でロックされます。	ベビーシートの取り付けに合わせて、シートベルトの長さを引き出し巻取りながら固定してください。（取り付けかたは「11～13車両への取り付け」を参照）
ＡＬＲ／ＥＬＲ(チャイルド シート固定機構）付３点式シート ベルト	ＥＬＲ付3点式シート ベルトにチャイルド シート固定用にALR機構を備えたものです。	装着の際は上記ＥＬＲ付3点式シート ベルトと同じ方法で固定してください。巻取る時車両シート ベルトの肩ベルトを持ち上げないでください。（取り付けかたは「11～13車両への取り付け」を参照）
ＡＬＲ（自動ロック式ベルト巻取り装置）付３点式シート ベルト	ベルトを引き出す途中（任意の位置）で止めると自動的にロックされ、それ以上引き出せなくなります。	ベビーシートを固定するのに必要な長さのシート ベルトを一気に引き出して巻取りながら固定してください。巻取る時、車両シート ベルトの肩ベルトを持ち上げないでください。（取り付けかたは「11～13車両への取り付け」を参照）
ＮＬＲ（非ロック式ベルト巻取り装置）付3点式シート ベルト	ロック機構が無く、ベルトを全部引き出した状態で体格に合わせてベルトの長さを調節します。	巻取り装置からシート ベルトを全部引き出し、ベビーシートに合わせてシート ベルトの長さを調節し固定してください。（取り付けかたは「11～13車両への取り付け」を参照）
マニュアル式3点式シート ベルト	巻取り装置が無く、体格に合わせてベルトの長さを調節するシート ベルトです。	ベビーシートに合わせてシート ベルトの長さを調節し固定してください。（取り付けかたは「11～13車両への取り付け」を参照）

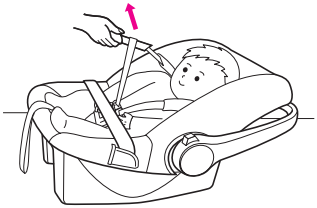
緊急の場合には

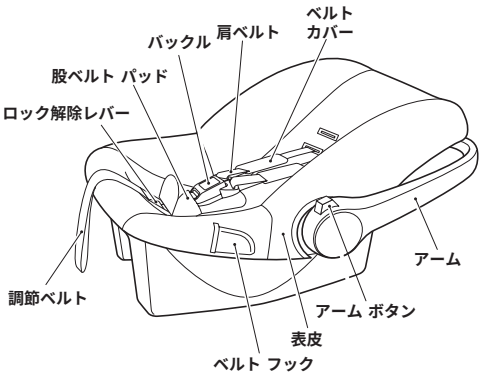
緊急時にはあわてずに、下記方法ですみやかにお子様を救出してください。

・バックルのボタンを指で強く押し、プレートA・Bをバックルから離し、お子様を降ろしてください。

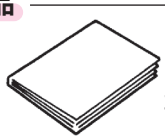


・バックルからプレートA・Bが抜けない時には、ベビー シートの肩部ベルトを刃物等で切り、お子様を降ろしてください。

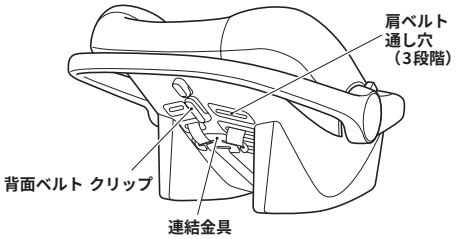




付属品



取扱説明書
（本書）



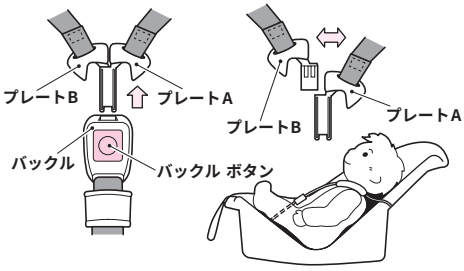
アドバイス

・取扱説明書をご使用にならないときは、大事な備品であるため紛失しないように大切に保管してください。

⚠注意

●ベビー シートのバックルを外したままでのご使用は絶対におやめください。

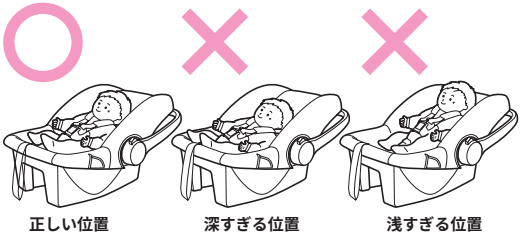
❶ バックルのボタンを強く押して、プレートA・Bを取り外す。（左図参照）



アドバイス

・左右のベルトを外側に開いておくと、お子様を乗せやすくなります。

❷ お子様のお尻がシートの一番深い位置にくるように乗る。



❸ プレートAとプレートBを組み合わせてから、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込む（左図参照）

⚠注意

●プレートA、プレートBは片方ずつではバックルに差し込めません。また片方のみではバックルにロックしません。必ずプレートAとプレートBをきちんと組み合わせてからバックルに差し込み、ロックしてください。

❹ 肩ベルトの位置や長さをお子様の体格に合わせ必ず調節する。（「9肩ベルトの長さ調節」を参照）

❺ ベルト カバーをお子様の肩にかかる位置に調節する。

取り付けチェック

⚠警告

●下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。ベビー　シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。

- バックルとプレートA・プレートBが確実に取り付けられていること。
- 肩ベルトがねじれたり、ゆるんだ状態になっていないこと。
- ベルトカバーが正しい位置にあること。
- 連結金具が肩ベルトに正しく付いていること。（肩ベルトを引っ張り確認してください。）

⚠注意

●各機能の取り付け、取り外しおよび調節は必ず停車中に行ってください。走行中に行うと運転の妨げとなり、思わぬ事故の原因となります。

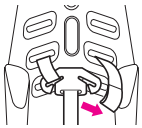
1．肩ベルト通し穴の変えかた

⚠警告

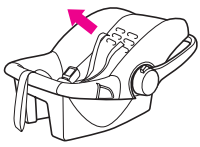
●肩ベルトは、お子様の体格に合わせて必ず調節してください。正しく調節しないと衝突したときなどにベビー シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

●お子様の成長に合わせて、肩ベルトの位置を調節してください。

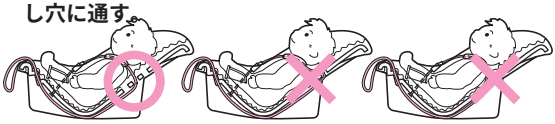
❶ 背面の連結金具から肩ベルトを取り外す。



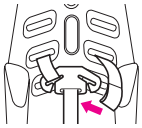
❷ ベビーシート本体から肩ベルトを抜き取る。



❸ 下図のように肩ベルトをお子様の肩の高さに最も近い位置で、左右同じ高さの肩ベルト通し穴に通す。

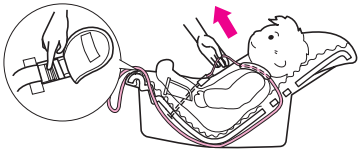


❹ 背面の連結金具に肩ベルトを差し込む。



2．肩ベルト長さの調節

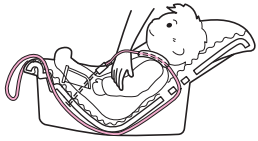
❶ 図のようにロック解除レバーを押しながら左右の肩ベルトを引き出し、ゆるめる。



❷ 図のようにお子様の体と肩ベルトの間に手のひらが入る程度に、肩ベルトの長さの目安をつける。

❸ 調節ベルトを引き、②で決めた長さになるよう肩ベルトの長さを調節する。

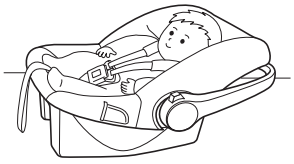
❹ お子様の体と左右の肩ベルトとの間に手のひらが入る程度かを確認する。



取り付けチェック

⚠警告

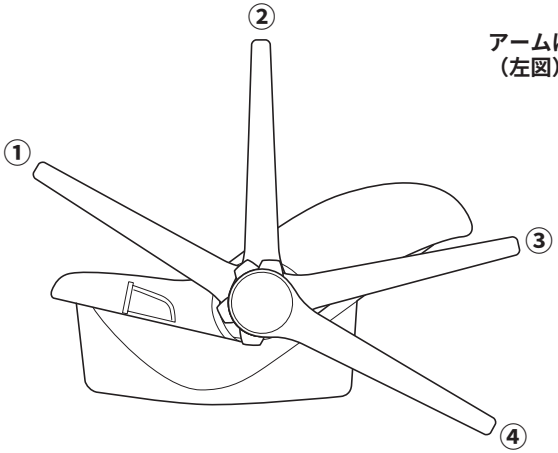
●下記の項目を満足しない状態で、使用しないでください。ベビー シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。



- 肩ベルトが左右とも確実に調節金具に接続されていること。
- 肩ベルトが左右同じ高さの穴から通してあること。
- 肩ベルトがねじれたり、ゆるんだ状態になっていないこと。

10　アームの調整

1．アームの位置

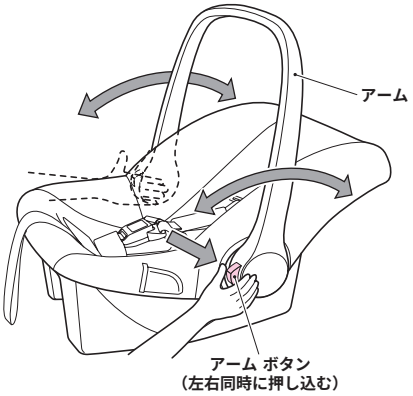


アームは、次の4つの位置で固定して使用できます。
（左図）

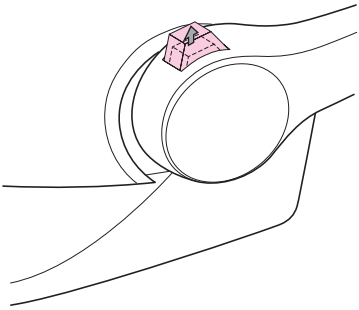
❶ 車両取付け位置
❷ キャリア位置
❸ ゆりかご・収納位置
❹ ベビー ラック位置

2．アーム位置の調節

❶ 左右のアーム ボタンを同時に押し込み、アームのロックを外し、アームを回転させる。



❷ アームを使用する位置で、アーム ボタンが戻りアームがロックされるのを確認する。



取り付けチェック

⚠警告

●下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。
ベビー シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。

- アームが確実にロックされていること。
- アーム位置が正しい使用位置にあること。

⚠注意

●ご使用前に取り付け可能な座席であることおよびお子様が使用条件を満たしていることを必ず確認してください。（「ご使用にあたって」を参照）取り付けが難しい場合は無理に取り付けないでください。万一のとき、ベビー シートが効果を発揮しないばかりか思わぬ事故の恐れがあります。
●ベビー シートは進行方向に対して、必ず後ろ向きで取り付けてください。前向きではベビー シートが効果を発揮しないばかりか、万一のときに思わぬ事故の恐れがあります。
●お子様を乗せたまま車両へ取り付けるときは、お子様が落ちてケガをすることのないよう、十分注意して取り付けてください。
●ＳＲＳエア バッグが装備されている座席には絶対に取り付けないでください。ＳＲＳエア バッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受ける恐れがあります。なお前席（助手席ＳＲＳエア バッグが装備されていない座席）にベビー シートを取り付ける場合は、車両前席シートの前後位置をいちばん後ろの位置にした上で後ろ向きに取り付けてください。

アドバイス

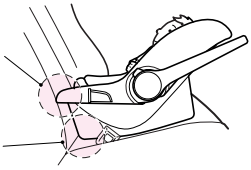
・万一のとき、後席の方がより安全ですので、後席への取り付けをおすすめします。

1．車両シートへの置きかた

⚠警告

●運転者が適切な運転姿勢をとれないおそれのある座席には取り付けないでください。運転の妨げとなり思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受ける恐れがあります。（運転席の後方座席や運転席と助手席が一体の車両など）

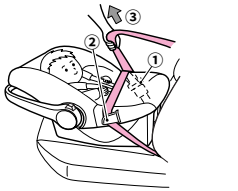
・ベビー シートの座面先端部が車両シート バックに当たるようにしてください。〔リクライニング付シートの場合はベビー シートの座面先端部が車両シート バックに当たるようリクライニング調節してください。〕
・ベビー シート底面の前端が車両シート座面に接するようにしてください。

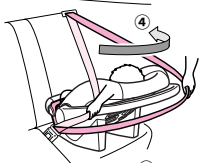


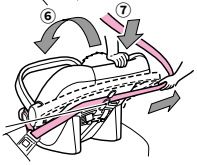
アドバイス

・車両にアジャスタブル ショルダー ベルト アンカが装備されている場合は一番下の位置に調節しておくと、ベビー シートを取り付けやすくなります。
※アジャスタブル ショルダー ベルト アンカー車両シート ベルトが乗員の肩に十分かかるよう高さを調節できる機構。（調節方法等、取扱いについては車両の取扱説明書をお読みください。）
・前席へ取り付ける場合（助手席ＳＲＳエア バッグが装備されていない座席のみ）は車両シートを一番後ろまで下げておくとベビー シートを取り付けやすくなります。

2．車両シート ベルトでの固定のしかた







⑤背面ベルト クリップ

❶ 車両シート ベルトをベビー シートの上を通して、車両のタング プレートを車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込む。
❷ 車両シート ベルトをベビー シートの両側のベルト フックに差し込む。
❸ 車両シート ベルトを引き上げ、ゆるみを取り去る。
❹ 車両シート ベルトを引き出し、ベビー シートの背面を通過させる。

アドバイス

・車両シート ベルトが短く、ベビー シートの背面を通過させにくい場合は「車両シート ベルトが短く背面を通過させにくい場合」（「13　車両への取り付け」）を参照ください。
・ＡＬＲ／ＥＬＲ付シート ベルト、ＡＬＲ付シート ベルトの場合、車両シート ベルトをすべて引き出さないでください。チャイルドシート固定機能が作動し、取り付けにくくなります。万一、チャイルドシート固定機能が作動した場合、車両シート ベルトを全部巻き戻し、再度装着してください。

❺ 車両シート ベルトをベビー シートの背面ベルト クリップに差し込む。
❻ 左右のアーム ボタンを同時に押し、アームを車両取付け位置（「10　アームの調整」）まで回転させロックさせる。
❼ ベビー シートを車両シートに押しつけながら、ベルトのゆるみを取り去る。

取り付けチェック

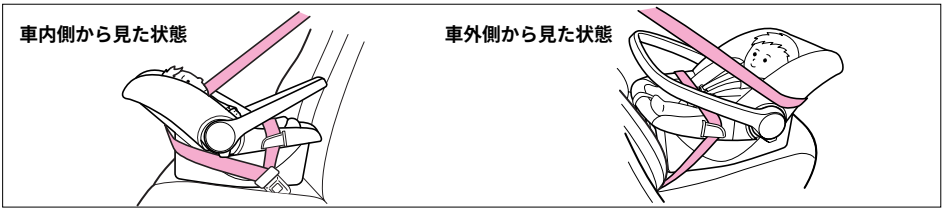
⚠警告

●下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。ベビー シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。

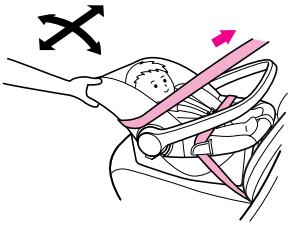
- **ベビー シートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。**
- **車両ベルトが図の通りになっていること。アームが図の位置で確実にロックされていること。**

左側座席への取り付け状態

右側座席への取り付け状態



- **ベビー シートに前後左右に力をかけ、ゆすってみたとき、確実に固定されていること。**



- **固定が不十分な場合は前ページ「車両シート　ベルトでの固定のしかた」の❸❼をやり直し、ゆるみを取ってください。**
- **車両シート　ベルトが短いときや、車両シート座面とベビー　シート底面の前端が接しないときは装着しないでください。**
- **車両シート　ベルトがＡＬＲ（チャイルド　シート固定機能）付ベルトの場合、全量引き出してＡＬＲの状態で装着し、車両シートベルトの肩ベルト部を持ち上げないでください。（左図→矢印方向）ベルトが引き出せずベビー　シートが傾いた状態となり、ベビーシートが効果を発揮しない恐れがあります。装着をやり直してください。**

- **お子様が座っても、車両シート ベルトにゆるみがないこと。（「8　お子様の乗せかた」を参照）**
- **車両シート ベルトがねじれていないこと。**
- **シート リクライニング ノブの下にシート ベルトが入り込んでいないこと。**

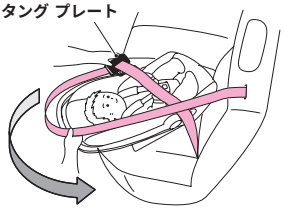
車両シート ベルトが短く背面を通過させにくい場合

アドバイス

・前席へ取り付ける場合（助手席ＳＲＳエア　バッグが装備されていない座席のみ）は車両シートが一番後ろの位置に調節しておくとベビー シートを取り付けやすくなります。
・車両にアジャスタブル ショルダー ベルト アンカが装備されている場合は一番下の位置に調節しておくと、ベビー シートを取り付けやすくなります。

❶ **車両シートにベビー　シートを斜めに置く。**

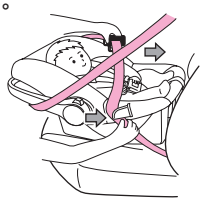
❷ **ベビー シートの上に車両シート ベルトを通し、図の位置で車両のタング プレートを保持しながら、車両シート ベルトを引き出し、ベビー シートの背面を通過させる。**



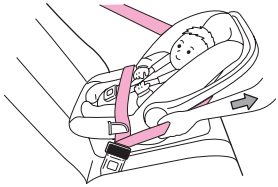
アドバイス

・ＡＬＲ／ＥＬＲ付シート　ベルト、ＡＬＲ付シート　ベルトの場合、車両シート ベルトをすべて引き出さないでください。チャイルド　シート固定機能が作動し、取り付けにくくなります。万が一、チャイルド シート固定機能が作動した場合、車両シート　ベルトを全部巻き戻し、再度装着してください。

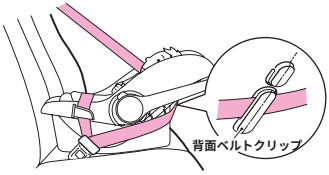
❸ **ベビー シートを後ろ向きに戻し、車両シート ベルトをベビー シート両側のベルト　フックに差し込む。**



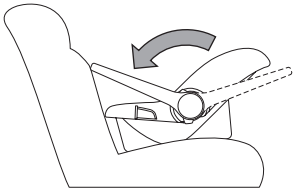
❹ **車両のタング プレートを車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、車両シート ベルトを引き、ゆるみを取り除く。**



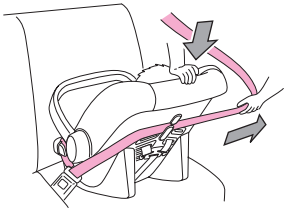
❺ **車両シート ベルトをベビー シートの背面ベルト　クリップに差し込む。**



❻ **左右のアームボタンを同時に押し、アームを車両取り付け位置まで回転させロックさせる。**



❼ **ベビー　シートを車両シートに押しつけながら車両シート ベルトを引き、ゆるみを取り除く。**



取り付けチェック

⚠警告

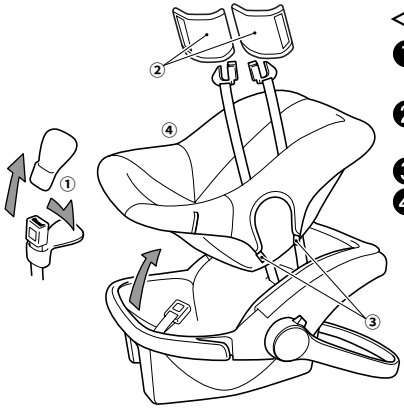
●前ページの取り付けチェックの項目を満足しない状態で使用しないでください。ベビー シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。

14　ベビー シートのお手入れ

1．構成部品の取り外しかた

⚠警告

●下記説明以外の分解はしないでください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受ける恐れがあります。



＜取り外し順序＞

❶ バックルより、股ベルト パッドを取り外す。
（上に引き抜きます。）

❷ 左右の肩ベルトから、左右のベルトカバーを取り外す。
（ベルト カバーのマジック ファスナーを取り外します。）

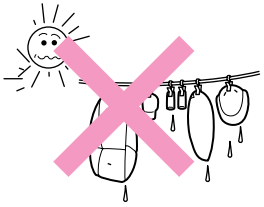
❸ アーム下側のゴムひものフックを取り外す。

❹ ベビー シート足元側から表皮を取り外す。

（頭部側から表皮をはずすと両サイドのベルト フック部が外れにくくなります。）

2．お手入れ方法

（1）．表皮類の洗いかた



表皮類

部品＼構成	表地	中綿	裏地
表皮	綿100%	ポリエステル100%	ポリエステル100%
ベルト カバー	綿100%	ポリエステル100%	ポリエステル100%
股ベルト パッド	綿100%	ポリエステル100%	ポリエステル100%

・水またはぬるま湯で押し洗いしてください。なお、汚れがひどいときは、中性洗剤で手洗いし風通しのよい日陰に干してください。

⚠警告

●十分に乾くまで使用しないでください。

アドバイス

・ 塩素系漂白剤は色落ちするので使わないでください。
・ アイロン掛けはしないでください。
・ 乾燥機には、かけないでください。

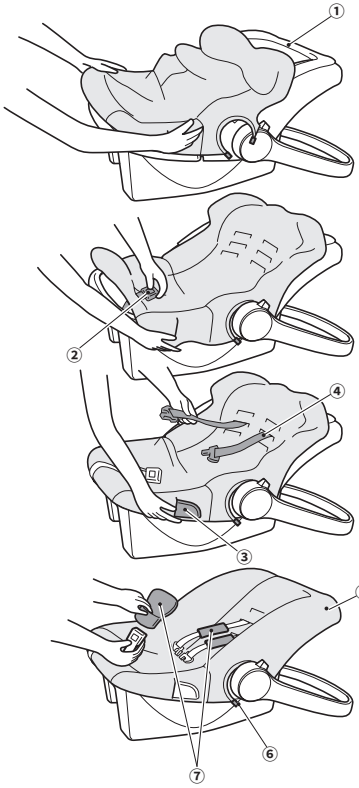
（2）．樹脂部品、肩ベルトのお手入れ

⚠警告

●ガソリンやベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。ベビー シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。

・掃除機などで、ほこりやごみを取り除いてください。
・飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
・汚れがひどいときは、中性洗剤かぬるま湯で汚れをとり、水拭きしてから風通しのよい日陰に干してください。
・十分に乾くまで使用しないでください。

3．構成部品の組み付けかた



＜組み付け順序＞

❶ 表皮をベビー シート足元側より、かぶせる。

❷ バックルを表皮の穴に通す。

❸ 左右のベルト　フックを左右の表皮の穴に通し、表面に出す。

❹ 左右の肩ベルトを表皮の穴に通す。

❺ 表皮をベビーシート頭部側にかぶせる。

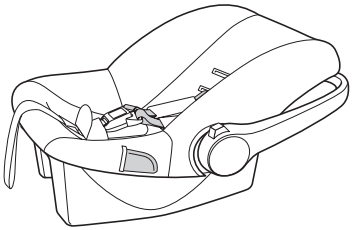
❻ ゴムひもをアームの下側からまわし、ホックに取り付ける。

❼ 左右のベルト　カバー、股ベルトパッドを左右の肩ベルト及びバックルに取り付ける。

⚠警告

●ベルトフックが外に出ていないと確実に車両に取り付けられないおそれがあり危険です。
●本品は構成部品を取り外した状態で使用したり、本品指定以外のものと取り替えて使用しないでください。万一のとき、ベビー シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。

取り付けチェック



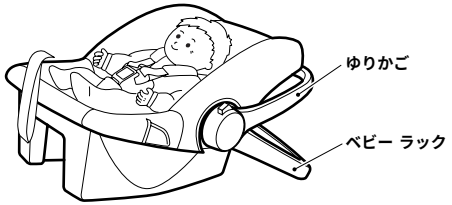
⚠警告

●下記の項目を満足しない状態で使用しないでください。
ベビー　シートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。

- 左右のベルト フックが完全に表皮から外に出ていること。
- ベビー シートの肩ベルト通し穴と表皮の穴の位置が合っていること。
- ベルトがねじれていないこと。
- 構成部品の取り付け忘れがないこと。
- 構成部品の取り付け順序および、左右・表裏の間違いがないこと。

1．ベビー ラック、ゆりかごとしての使用方法

・屋内ではベビー　ラック、ゆりかごとしてもご使用いただけます。
・アームは下図位置でご使用ください。



⚠注意

●斜面や不安定な場所へは置かないでください。ベビー　シートがたおれたりし、お子様が落ちてケガなどをする恐れがあります。

●ベビー　ラックとしてご使用になる場合、過剰に押しつけない様ご注意ください。故障の原因となります。

2．ベビー キャリアとしての使用方法

・車外ではベビー キャリアとしてもご使用いただけます。

⚠注意

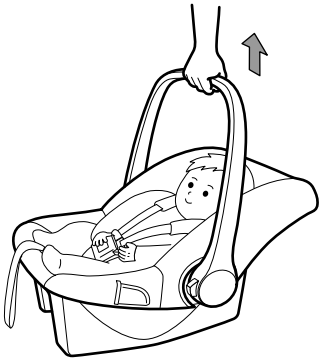
●お子様をベビー シートに乗せているときは、必ずベビー シートの肩ベルトを着用させてください。万一のとき、お子様が落ちてケガなどをする恐れがあります。

〈持ち運び方法〉

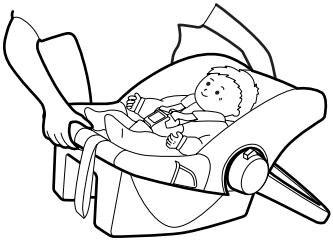
アームを使用する場合

❶ アームをキャリア位置に固定する。

❷ アーム中央を持って持ち運ぶ。



ベビー シートを直接持つ場合



ベビーシートの上下の樹脂部を両手でしっかり持つ。

⚠注意

●表皮だけを決して持たないでください。表皮がずれて両手でベビー　シートを支えられなくなる恐れがあります。

MEMO

●**商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または、(株)ホンダ アクセス お客様相談室までお願いします。**

株式会社ホンダ アクセス「お客様相談室」全国共通フリー ダイヤル

0120-663521（受付時間：**9時～12時 13時～17時**／但し、土日・祝祭日は除く）

発売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589　埼玉県新座市野火止8丁目18番4号

製造元　**株式会社 東海理化**　〒480-0195　愛知県丹羽郡大口町豊田3丁目260番地

不許複製

株式会社ホンダアクセス

08P90-TA2-G002-80